

# 石油コンビナートの生産性向上及び強じん化推進事業費

平成30年度予算額 **135.0億円 (140.0億円)**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 我が国のエネルギー供給と地域経済を支える石油コンビナート等の石油供給インフラは、2つの課題に直面しています。第一に、アジア諸国の石油コンビナートとの激しい国際競争であり、第二に、首都直下型地震や南海トラフ地震等の未曾有の危機への備えです。
- 2つの課題に対応するため、石油コンビナートの生産性と危機対応力の向上に資する以下の取組みを官民連携で推進します。
  - ① 石油コンビナート地域内の複数事業者間の連携等による既存設備の有効活用や、世界最先端の精製プロセスの導入、輸送能力の強化等を促進し、石油の安定供給実現に必要な「石油コンビナートの立地基盤整備」に向けた投資。
  - ② 首都直下型地震等による地震動・液状化・側方流動（地盤が水平方向に大きく変位する現象）等による被害に備え、石油供給インフラの被害最小化と早期の石油供給回復に必要な「製油所等の強じん化（レジリエンス向上）」に向けた投資。

### 成果目標

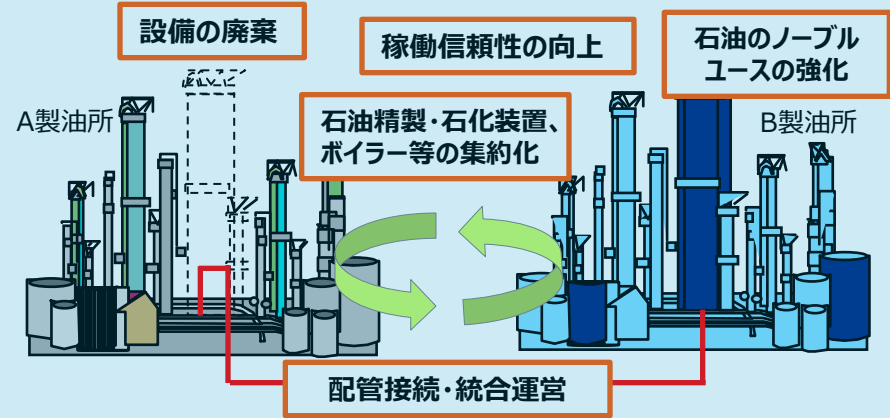
- 平成27年度から平成33年度までの事業であり、立地事業所間の原料・水素・水蒸気の融通の促進や精製可能な原油の重質化、製油所等の災害対応能力の強化（24時間以内に平時の1/2の出荷能力回復）など、石油コンビナート等の生産性と危機対応力の向上を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 「石油コンビナートの立地基盤整備」に向けた投資



### 「製油所等の強じん化（レジリエンス向上）」に向けた投資

